

品質工学による効果的な製品評価技術の構築

Construction of Effective Product Evaluation Technology by Quality Engineering

製品技術部 神生 直敏・飯田 憲一・畑沢 賢一

■支援の背景

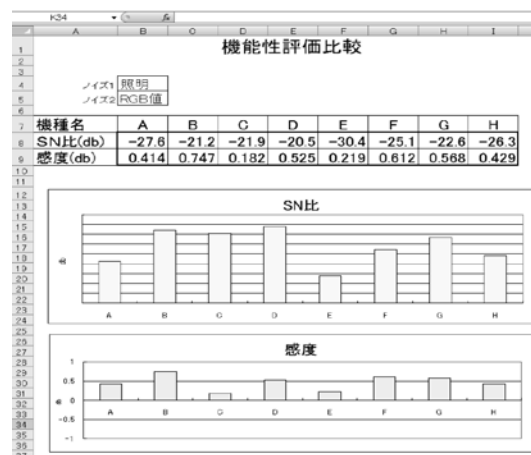
工業試験場では、効果的に技術開発・新製品開発を行う開発技法である「品質工学」の企業への普及を、研究開発や研修・研究会活動などを通して取り組んでいます。その活動の中で、A社より機械装置の制御に品質工学を適用したいとの相談があり、支援を行った結果、一定の成果を得ることができました。その後、品質工学を用いて効率的な装置の評価技術を確立し、品質工学の社内展開を進めたいとの相談があり、技術的な支援を行いました。

■支援の要点

1. 製品評価が可能となる品質工学支援ツールの内容検討
2. 研修会で使用する演習用教材の検討
3. 品質工学の社内展開を図るため、演習を含めた研修会の実施



品質工学研修の様子



機能性評価ツール

■支援の成果

1. 品質工学の手法である「機能性評価」を行うため、マイクロソフトExcelを使った支援ツールを開発しました。
2. 機能性評価手法およびパラメータ設計手法の演習題材として、デジタルカメラおよび污水处理装置シミュレータ（出典「実践・品質工学」等）を題材に選定しました。
3. 研修会を社内で5回実施し、参加者が品質工学の基礎的な知識を習得することができました。